

おまえざき患者支援センターだより



令和3年7月吉日 第64号
市立御前崎総合病院
患者支援センター

<https://omaezaki-hospital.jp/>
E-mail byorenkei@city.omaezaki.shizuoka.jp

日頃より、患者さまのご紹介や臨床情報の提供・取得をスムーズに行っていただき、心からお礼申し上げます。皆様のご尽力を賜り、地域における当院の役割を担うべく、日々努めさせていただきます。

今回は、回復期リハビリ病棟について特集させていただきますので、ご覧ください。暑い日が続きますが、コロナ対策、暑さ対策をとり、自身のお体にもご自愛ください。

1 医師異動のお知らせ

着任	7月1日付	脳神経外科(非常勤)	金城 雄太(かねしろ ゆうた)	水曜日午前
	7月1日付	耳鼻咽喉科(非常勤)	山口 裕貴(やまぐち ゆうき)	火曜日午前
退職	6月30日付	耳鼻咽喉科(非常勤)	竹内 一隆	

2 神経内科外来・もの忘れ外来について

		火	水	木
神経内科外来	午前	○小野澤 (内科)	×休診中	○小野澤 (内科)
もの忘れ外来	午前	○小野澤 (内科)	×休診中	○小野澤 (内科)
				○永尾 (脳神経外科)

※池谷医師水曜外来
7/21からしばらくの間
休診となります。

3 ふじのくにねっとサポート事業について



①ふじのくにねっと体験用端末の貸出しをしています。

実際に使用体験ができ、画像や検査データなどの表示内容が確認できます。

この機会に体験してみても、いかがですか？ご希望の場合は、患者支援センター地域連携室までご連絡ください。

②ふじのくにねっと加入施設を対象に、不具合事象の内容によりサポート技術者の派遣サービスを利用できます。

サポート料金の一部助成制度がありますので、サービスの利用を希望される場合は、当院またはお近くの開示病院へお問合せください。

地域連携室 電話 0537-86-8852

4 統計 令和3年度

	医師会	4月	5月	6月
逆紹介数 (人)	小笠	86	85	100
	榛原	40	34	51
紹介患者数 (人)	小笠	94	108	115
	榛原	67	42	52
逆紹介率 (%)	小笠	91.5	78.7	87.0
	榛原	59.7	81.0	98.1
検査受託 件数	小笠	59	51	53
	榛原	17	13	21



5 回復期リハビリテーション病棟のご案内

集中的なリハビリで、生活を向上させませんか！

～このような方達がリハビリテーションを行っています～

脳血管疾患や大腿骨頸部骨折・脊椎の圧迫骨折・骨盤骨折・膝関節骨折、その他の急性期治療を終えた患者様で廃用症候群に陥ってしまった方に対し、主に社会復帰・在宅復帰を目指したリハビリテーションを中心に、治療を進めていく病棟です。



病気をしたら・・・ 「足腰が弱ってきて布団からの起き上がりが大変になった」
「歩いたり、トイレに行くのが大変になった」
「後遺症が残って、これからの生活が不安だし、困った」

回復期リハビリの適応疾患・状態

1. 脳血管疾患(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血等)、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢傷義肢装着訓練を要する状態等
2. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折
3. 外科手術・肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有する
4. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後・股関節又は膝関節の置換術

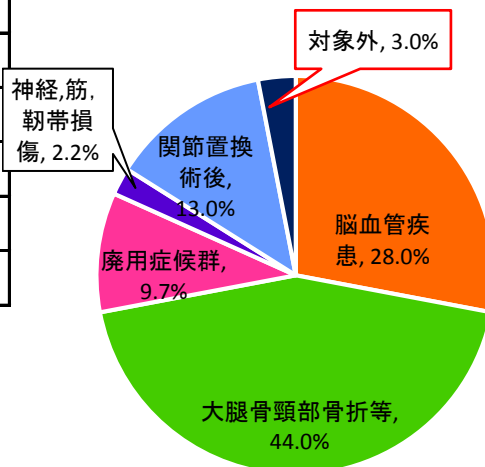


※上記疾患以外の方もリハビリが必要な方は相談可能です。お気軽にご相談ください！！

回復期リハビリテーション病棟実績(令和2年度)

疾患割合

疾患名	人数
脳血管疾患	28.0%
大腿骨頸部骨折等	44.0%
廃用症候群	9.7%
神経、筋、靭帯損傷	2.2%
関節置換術後	13.0%
対象外	3.0%

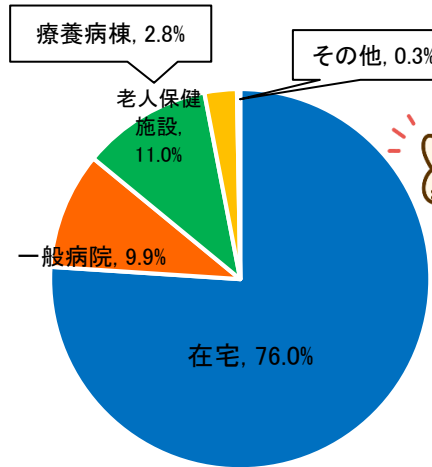


さまざまな対象疾患の患者様はもちろん、対象疾患がないリハビリが必要な患者様についても相談を受けています。



転帰別割合

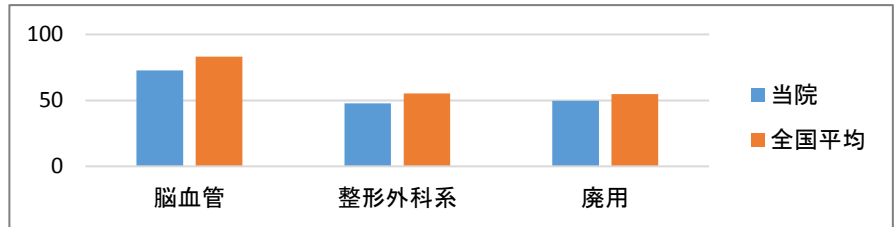
転 帰 先	人 数
在宅	76.0%
一般病院	9.9%
老人保健施設	11.0%
療養病棟	2.8%
その他	0.3%



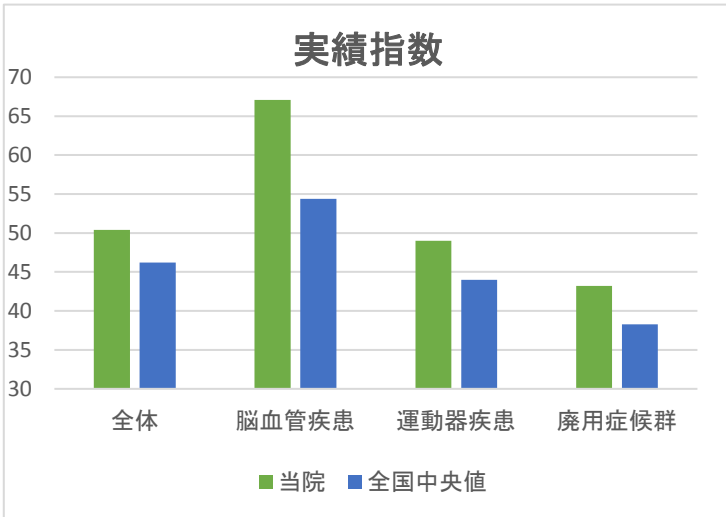
当病棟をご入院された方のうち、**約8割の方が在宅に復帰**されています。

在院日数

平均在院日数	脳血管	整形外科系	廃用
当院	72.8	47.8	49.7
全国平均	83.2	55.3	54.7



実績指数



実績指数は、回復期病棟入院から退院するまでの期間にどれだけ日常生活動作が改善(FIM利得)したかという点と、疾患ごとに定められた入院期間(算定上限日数)のうち何日入院(入院日数)していたかという点に着目し、これらを規定の式に入れることで算出されます。

短い入院期間で日常生活動作(ADL)が改善するほど実績指数の値が高くなります。

(入院中に効率のよいリハビリテーション介入ができたかを見る指標となります)

$$\text{実績指数} = \text{FIM利得} \div (\text{入院日数} / \text{算定上限日数})$$

入院相談受付

- **相談受付:医療福祉相談室へ電話(かかりつけ医療機関より)**

直通電話; 0537-86-8541

受付時間; 8:15~17:00(土・日曜日、祭日を除く)

- **申し込み手続き**

① 診療情報提供書(様式は問いません)をFaxしてください。

(直通FAX:0537-86-8853)

宛先は「回復期リハビリ病棟 担当医宛」で作成願います。

② 患者様・ご家族様へ連絡をとらせていただき、説明等をさせていただきます。

患者さまにとっての
生活の質(QOL)を常に考え、
最善のリハビリテーションを提供する
努力をしております

